

RDS150 施工手順書


◆安全に関する重要な内容です。

施工のまえに本施工手順書を必ずお読みください。


施工後は本施工手順書も含め添付品をお客様へお渡しください。


※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う恐れがある。

注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。



警告

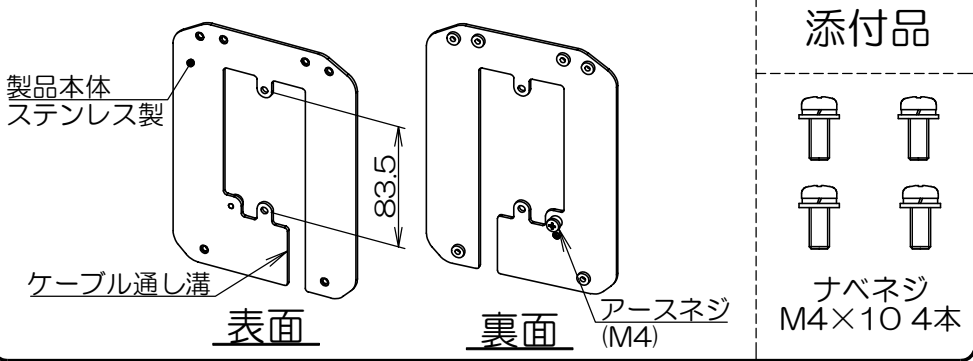
 必ず守る	◆製品の分解・改造はしないでください。
	◆必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。
	◆施工は本施工手順書通り正確に行なってください。 ⇒破損、けがの原因となります。
	◆本製品の上に乗ったり、物を載せたりしないでください。 ⇒破損、けがの原因となります。
	◆重いものを落としたり、ぶつけたり等強い衝撃を与えないでください。 ⇒製品の破損原因となります。



注意

◆施工まえに施工場所のスペース確認を行なってください。 ⇒スペース不足の場合、カバー開閉動作によって車などの器物を破損する原因となります。
◆通行の障害となる様な場所や製品が蹴られる様な場所に施工しないでください。 ⇒製品の破損・故障の原因となります。
◆洗剤、化学薬品、ワックス等を使用しないでください。 ⇒製品の变色、腐食の原因となります。
◆確実にコーキングを行なってください。
◆本製品の施工には電気工事士免許が必要です。

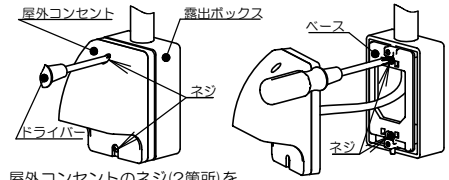
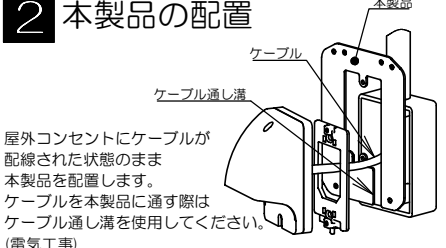
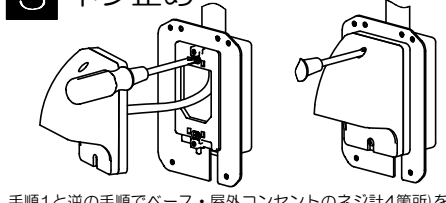
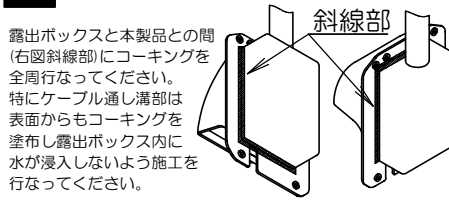
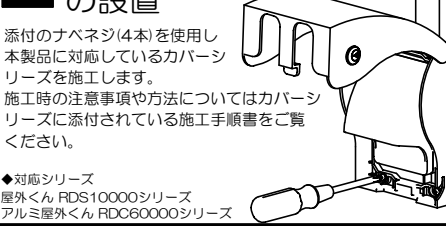
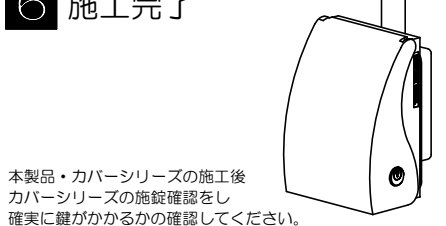
◆部品構成と名称



取付ける際のご注意

- ◆適合露出ボックス
防水コンセント用1連露出ボックス
※露出ボックスの形状・大きさによって取り付けできない場合がございます。
- ◆指定の場所に必ずコーキングを行なってください。
※コーキングが不十分な場合、露出ボックス内に水が浸入する恐れがございます。
- ◆対応シリーズ
屋外くん RDS10000シリーズ
アルミ屋外くん RDC60000シリーズ

※屋外コンセントの新規施工の場合は手順2からの作業になります。

<h3>1 屋外コンセントの取り外し</h3>  <p>屋外コンセントのネジ(2箇所)を外した後ベースのネジ(2箇所)を外します。(電気工事)</p>	<h3>2 本製品の配置</h3>  <p>屋外コンセントにケーブルが配線された状態のまま本製品を配置します。ケーブルを本製品に通す際はケーブル通し溝を使用してください。(電気工事)</p>	<h3>3 ネジ止め</h3>  <p>手順1と逆の手順でベース・屋外コンセントのネジ計4箇所を取付けてください。(電気工事)</p>
<h3>4 コーキング</h3>  <p>露出ボックスと本製品との間(右図斜線部)にコーキングを全周行なってください。特にケーブル通し溝部は表面からコーキングを塗布し露出ボックス内に水が浸入しないよう施工を行なってください。</p>	<h3>5 まもれーるカバーシリーズの設置</h3>  <p>添付のナベネジ(4本)を使用し本製品に対応しているカバーシリーズを施工します。施工時の注意事項や方法についてはカバーシリーズに添付されている施工手順書をご覧ください。</p> <p>◆対応シリーズ 屋外くん RDS10000シリーズ アルミ屋外くん RDC60000シリーズ</p>	<h3>6 施工完了</h3>  <p>本製品・カバーシリーズの施工後カバーシリーズの施錠確認をし確実に鍵がかかるかの確認してください。</p>

■ お問い合わせ先

株式会社TERADA

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361